

男性育児休業 取得体験記 (産後パパ育休)



2022.10.2～2022.11.4 28日間取得
29歳男性 看護職員

パパの声

※男性育児休業を取得するきっかけ

- ・妻が勤めている職場でも男性の育児休業を取得しているパパたちがいるので、一度上司に相談してほしいと強い要望があった為

※育児休業中大変だったこと。楽しかったこと。

- ・夜、赤ちゃんと一緒に寝ていたが2、3時間おきにミルクで起きるのは大変だった。
- ・赤ちゃんが興奮してしまい、一晩抱えながら朝を迎えることもあった。
- ・生後間もない赤ちゃんと生活する中で見せてくれる原始反射がみられるのはとても貴重な体験でした。赤ちゃんの微笑みがとてもかわいかった。
- ・たった1ヶ月でこんなにも大きく成長してくれるのを目の当たりにするのは、とてもたのしくかけがえのない時間でした。

※ママへ一言

- ・まだまだ育児は大変かと思いますが、出来るだけサポートするので一緒に頑張りましょう。

※これから取得を考える職員へのアドバイスをお願いします

- ・私も、男性が育児休業を取得するのはむずかしいと思いきり無理だと妻に言ってしまいました。実際、初の男性育児休業を取得することが出来ましたが、妻一人での育児はとても大変だったと思います。職場の方々にご迷惑をおかけしましたが、感謝の気持ちでいっぱいです。まずは、早い時期に上司へ妊娠を報告して育休の相談をさせていただくのがよいと思います。

ママの声

※パパが育休取得してよかったことは

- ・実際に赤ちゃんを24時間見てくれていたので、赤ちゃんの個性や体の状態、物品の管理など具体的に共有出来てよかったです。
- ・日中は交代で仮眠をしていたので、まとまった睡眠がとれました。また、パパが赤ちゃんを一人で見ていることも多く、自然と育児への責任感が生まれたと思います。
- ・子育てを共有出来て、自然とお互いに労うことが出来ました。



※パパが育休中にしていたことは

- ・家事全般や育児全般、特に夜は赤ちゃんと同室で寝てくれて、寝かしつけからおむつ交換、ミルクをあげたりしてくれました。また、産後2,3週間目にマタニティーブルーのような症状になったときは話を聞いて寄り添ってくれてとてもありがたかったです。

※これからパパに期待することは

- ・夜はしっかり寝て、仕事の日の夜や休日に赤ちゃん和沢山コミュニケーションを取ってあげてほしいです。
- ・仕事はなるべく定時で帰ってきてほしいです。

上司から一言

- ・施設で初めての男性育児休業でしたが、施設としては男性、女性と性別関係なくできる限り仕事と家庭が両立できる環境づくりを考えています。
- ・取得した職員も初めてのことで戸惑いがあったと思いますが、育児の大変さ、大切さがわかり今回のこの経験によりさらに家族の絆も深まったことともいいます。
お子さんの日々の成長を見守り、二人三脚で頑張ってください。

